

## 世田谷村日記

石山修武

十月二十八日

朝刊に、仙台のプラネタリウムでカウント・ベアシー楽団のりサイタルの記事と写真あり。一ノ関ベアシーの菅原の仕事である。久し振りに良い話題で顔もゆるむ。プラネタリウムドームの保存運動の一助になると良いのだが。今日は午前中十勝の後藤氏来室。午後、馬場昭道と芝増上寺訪問の予定。

九時四〇分研究室。十時十勝後藤氏来室。<sup>21</sup> 農村研究会の件で打合せ。後藤さんは沢山のアイデアと素材を持っているし、経験もある。それをキチンと仕事にしてゆく方法をお互いに考えなくては。十五日の会に出席して頂き、提案してもらおう事を決めた。フィールドカフェ、スノーフィールドカフェは一つの指針になり得る。十二時過迄。高田馬場まで同行。後藤さんは点字図書館へ。私は浜松町へ。十三時前浜松町駅構内で昼食。十四時我孫子真栄寺馬場昭道氏とおちあい、芝増上寺近くの明照会館へ。十五時全日本仏教会・世界仏教徒連盟日本センター。事務総長齋藤明聖氏と会う。北京モルガンセンターの件、他。感覚の良い人で、大方の事を呑み込んでいただけだと思う。北京プロジェクトに一つのフォーカスが結ばれる可能性あり。中日関係は仏教が橋を架けるのも良い。十六時半迄。芝プリンスホテル内を通り抜け、浜松町まで歩く。今日は芝を良く歩いた。大寺院はデカイのを実感させられた。提義明氏が執念を燃やしたと言われるプリンスホテルにはいささか失望。こんなモノに日本有数の資本家が執念抱いたのかと、ガツカリした。金(マネー)は結局品性を育てないのか。

ホテルの裏庭のバラ園が未完成なものも哀れだった。十七時半東京駅地下で昭道さんと食事して、話しをした。佐藤健が亡くなって何年になるのだろう。仏教界の人脈は皆彼がのこしてくれたものだから大事に育てたい。十九時頃迄。二十時過世田谷村に戻る。

十月二十九日

今日は午後再び浜松町に行く予定である。十五時十分浜松町で十勝に帰る後藤氏と農文協の甲斐氏と合流。一時間半程、駅近くの焼鳥屋で話す。十六時半終了。世田谷村に十七時半戻り、コラムの続き書く。十九時四十五分、一人で近くのラーメン屋で夕食のネグラーメンと生ビール小。二〇時半もどる。

十月三〇日 日曜日

雑誌に次ぐ雑誌の一日。文字疲れた。福田和也の「作家の値うち」が面白かった。いまさら言う事でもないが、福田氏はい一度胸して。